

浜松地域の経済動向

2022年6月を中心に

製造業で供給面での制約が残るが需要は堅調で、
全体では緩やかに持ち直しつつある。

自動車、二輪車生産台数は半導体不足など供給面での制約が残るが堅調に推移した。

楽器生産金額は2カ月振りに30億円を超えた。

運輸・観光では、「今こそ しずおか 元気旅」効果で個人客は順調に推移したが、ビジネス、団体客は伸び悩んだ。

雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。レギュラーガソリン価格は依然160円台後半で推移している。

急激に円安が進んでいる。倒産件数に目立った変化はない。エネルギー価格および原材料価格高騰の影響が懸念される。

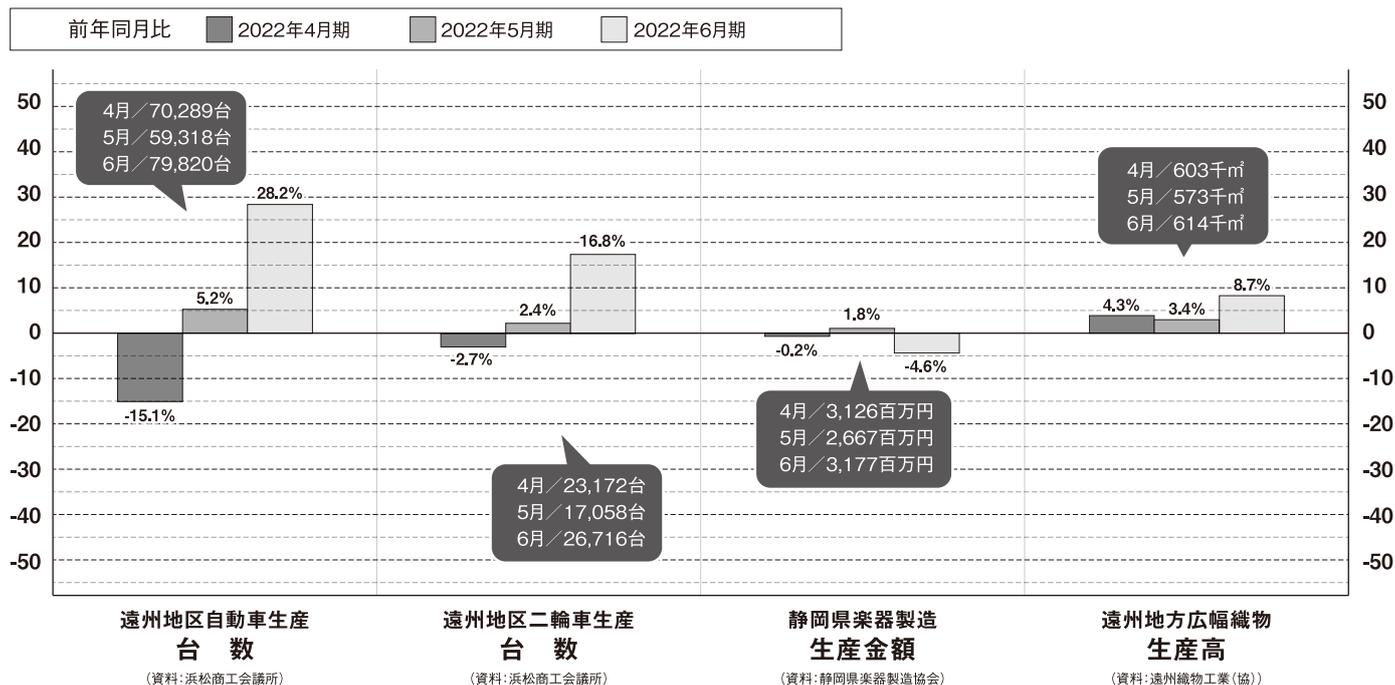
2022.

9
月

2022年9月発行

発行：浜松商工会議所

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2022年6月における遠州地区の自動車生産台数は、前年同月比28.2%増の7.9万台となった。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は14.8%増、小型四輪車は59.7%増、普通自動車は487.2%増となった。国内向けは15.3%増、輸出は73.6%増と全ての項目で増加となった。足元において、半導体不足の長期化や中国・上海市でのロックダウンは部品の供給不足を招き、先行き不安は拭えない。

二輪車



2022年6月における二輪車生産台数は前年同月比16.8%増の2.6万台となった。国内向けは16.5%減、輸出は23.5%増であった。排気量別では、50cc以下47.0%減、51cc～125cc以下116.0%増、126cc～250cc以下36.4%減、251cc以上38.6%増であった。国内向けは5カ月連続で前月を上回っており、需要は活発である。

楽器



2022年6月における生産金額は前年同月比4.6%減の31.7億円となった。分野別に前年同月と比較してみると、ピアノ7.9%減、電子・電気ピアノ33.5%増、電子オルガン52.3%減、管楽器5.8%増となっている。楽器生産金額は2カ月振りに30億円を超え、需要は底堅く堅調に推移している。

繊維



2022年6月の生産高は前年同月比8.7%増の614千㎡となった。3カ月連続で前年同月上回り、コロナ禍の生産減から脱する兆しが少しずつ見え始めている。ただ、稼働状況は工場によって差が出ており、直接販売を手掛ける工場は高い稼働率を維持しているが、問屋からの受注に依る工場は受注が少なく低い稼働率となっている。

浜松地域の経済動向

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2022年6月におけるタクシー乗車人員は前年同月比20.6%増の29.6万人となった。ホテルの催事、出張、買い物、病院送迎などでの利用が増加した。例年、利用客の多い大規模イベントは中止になったものが多く乗車人員に影響した。乗車人員はコロナ禍前の水準には戻っていない。

観光

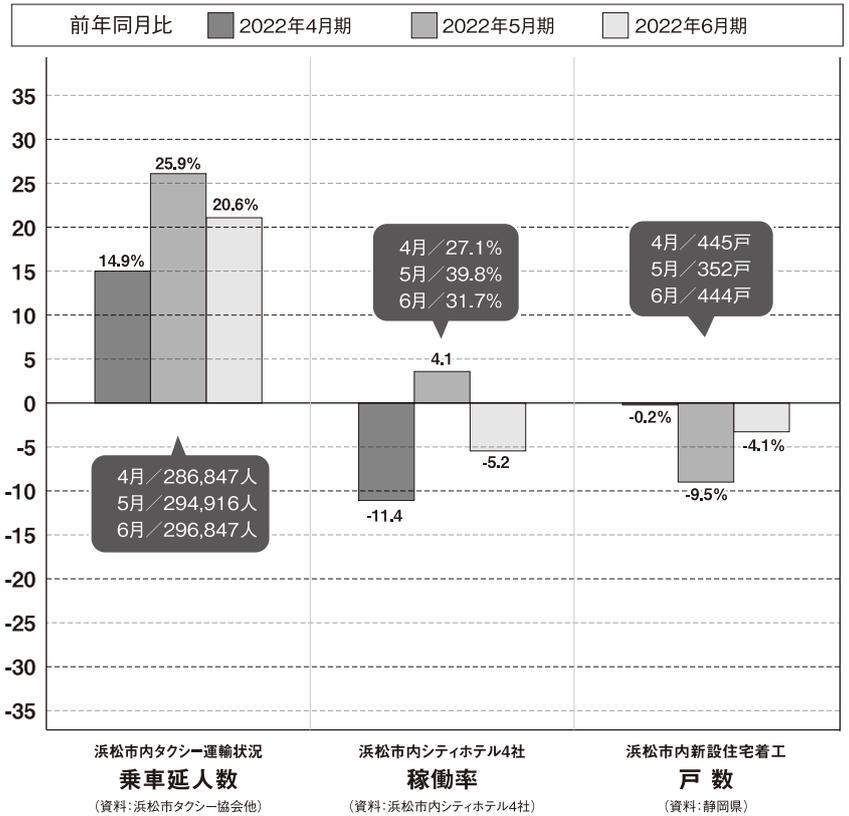


6月の浜松市内ホテルの稼働率は31.7%で、前年同月比-5.2ポイントであった。個人宿泊客は「今こそしずおか元気旅」の影響で順調であったが、ビジネスでの利用客は少なかった。団体客は定例開催イベントの規模縮小により伸び悩んだ。

住宅着工



2022年6月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比19戸減(4.1%減)の444戸となった。内訳をみると、持家は同戸数、貸家53戸減少、分譲住宅は17戸増加であった。貸家は大幅に減少した。静岡県全体では1,748戸で前年同月比83戸減少した。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2022年6月の有効求人倍率は1.11倍となった。前年同月との比較では0.12ポイント上回った。前月との比較では0.01ポイント上回った。全国(1.27)との比較では0.16ポイント、静岡県(1.31)との比較では0.20ポイント下回った。4カ月ぶりに前月の有効求人倍率を上回るなど雇用情勢は緩やかに持ち直しつつある。

倒産企業



2022年6月における県西部の企業倒産件数(帝国データバンク調べによる負債総額1千万円以上の法的整理による倒産)は4件、負債総額は1.2億円となった。前年同月との比較では倒産件数は4件減少し、前月との比較では2件減少した。静岡県全体の倒産件数は15件で、前年同月より2件減少した。エネルギー価格および原材料の仕入れ価格高騰による企業収益への悪影響が懸念される。

ガソリン価格



2022年6月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり167.8円となった。前年同月との比較では14.6円の上昇であった。前月との比較では1.7円下降した。3月まで値上がりが続いていたガソリン価格も3カ月連続で前月を下回るなど幾分落ち着きを見せてきてはいるが依然として170円近い高値となっている。

外国為替



2022年6月の外国為替は1ドル133.86円、前年同月と比較すると23.75円の円安となった。急激なスピードで円安が進んでおり、6月は前月より5.08円の大幅な円安となった。日米金利差は拡大傾向にあり、今後さらなる円安が懸念される。

